

STIHL FS 23, 24

STIHL



2 - 18 取扱説明書



目次

1	ごあいさつ.....	2
2	はじめに.....	2
3	概要.....	3
4	安全に関する重要事項.....	4
5	刈払機の使用準備.....	9
6	刈払機の組み立て.....	10
7	刈払機の調整.....	11
8	燃料の混合と刈払機への給油.....	12
9	エンジンの始動と停止.....	13
10	刈払機のテスト.....	14
11	刈払機の操作.....	14
12	作業後.....	15
13	運搬.....	15
14	保管.....	15
15	清掃.....	15
16	整備.....	15
17	修理.....	16
18	トラブルシューティング.....	16
19	技術仕様.....	17
20	カッティングアタッチメント、デフレクター、 キャリングシステムの組み合わせ.....	18
21	スペアパーツおよびアクセサリ.....	18
22	廃棄.....	18

1 ごあいさつ


お客様各位

STIHL 製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。弊社では、お客様のご要望を満たす高品質の製品を開発し、製造しております。弊社の製品は、極端な条件下においても高い信頼性が発揮されるよう設計されております。

STIHL 社は上質なサービスでも定評があります。弊社販売店は、お客様にご満足いただける助言や商品説明だけでなく、広範なサービスサポートも提供しております。

STIHL 社は天然資源を持続可能かつ責任ある方法で利用することに尽力しており、この方針を明示しています。本取扱説明書は、製品の長きに渡る耐用年数において、お客様が STIHL 製品を安全かつ環境に優しい方法で使用するのに役立つよう考えられています。

弊社をご愛顧いただきまして有難うございます。今後とも STIHL 製品をご愛用いただきますようお願い申し上げます。



Dr. Nikolas Stihl

重要！初めて使用する前に取扱説明書をお読みください。取扱説明書は、必要なときに参照できるように安全な場所に保管してください。

2 はじめに

2.1 適用文書

現地の安全規制が適用されます。

- ▶ 本取扱説明書の他に以下の文書をお読みいただき、内容を理解し、保管してください：
 - 使用するカッティングアタッチメントの取扱説明書とパッケージ

2.2 本書内の警告表示




- 重傷または死亡の原因となるおそれのある危険を示しています。
 - ▶ 記載されている対策を講じると、重傷または死亡事故を防ぐことができます。



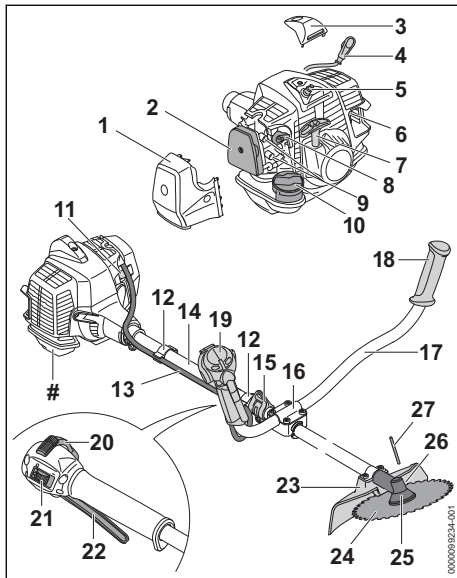
- 物的損害の原因となるおそれのある危険を示しています。
 - ▶ 記載されている対策を講じると、物損事故を防ぐことができます。

2.3 本文中の記号

 この記号は、本取扱説明書の章を示します。

3 概要

3.1 刈払機



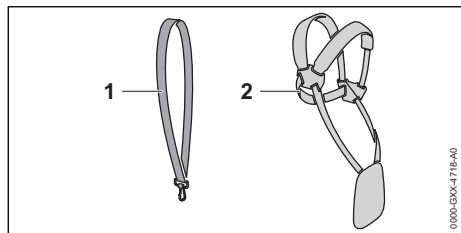
- 1 **フィルターカバー**
エアフィルター用カバー。
- 2 **エアフィルター**
エンジン吸気を濾過します。
- 3 **カバー**
スパークプラグ用カバー。
- 4 **スパークプラグターミナル**
イグニッションリードをスパークプラグに接続します。
- 5 **スパークプラグ**
エンジン内の混合気に点火します。
- 6 **マフラー**
刈払機が発する騒音を低減します。
- 7 **スターターグリップ**
エンジンの始動用に使用します。
- 8 **チョークレバー**
エンジンの始動を補助します。
- 9 **キャブレター調整スクリュー**
キャブレターの設定用に使用します。
- 10 **燃料タンクキャップ**
燃料タンクの蓋。
- 11 **手動燃料ポンプ**
エンジンを始動しやすくします。
- 12 **スロットルケーブルリティナー**
スロットルケーブルを定位置で固定します。

- 13 **スロットルケーブル**
スロットルトリガーをエンジンに接続します。
- 14 **シャフト**
全部品を連結します。
- 15 **吊り下げ用リング**
キャリングシステムを取り付けるために使用します。
- 16 **ハンドルバーサポート**
ハンドルバーをシャフトに固定します。
- 17 **ハンドルバー**
コントロールハンドルとハンドルをシャフトに接続します。
- 18 **ハンドル**
刈払機の保持と制御に使用します。
- 19 **コントロールハンドル**
刈払機の操作、保持、制御に使用します。
- 20 **トリガー**
カッティングアタッチメントの速度を調整するために使用します。
- 21 **スライドコントロール**
エンジンを作動/停止させるために使用します。
- 22 **スロットルトリガー**
エンジン回転数を制御するために使用します。
- 23 **金属製カッティングアタッチメント用デフレクター**
飛散物や金属製カッティングアタッチメントが使用者と接触するのを防ぎます。
- 24 **草刈ブレード**
芝草と雑草を刈払いします。
- 25 **ギアハウジング**
ギアボックスが収められています。
- 26 **ストップピン用開口部**
ストップピンを挿入します。
- 27 **ストップピン**
カッティングアタッチメント装着時にシャフトが回転するのを防ぎます。

機械番号付き銘板

3.2 キャリングシステム

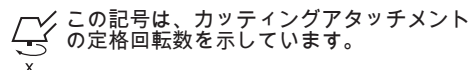
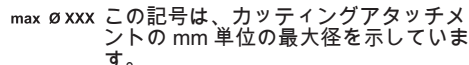
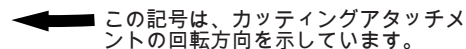
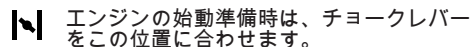
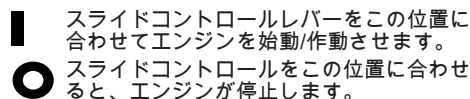
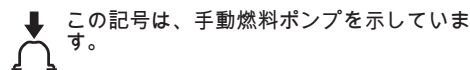
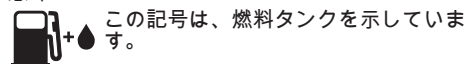
図は、キャリングシステムの標準的な例を示しています。可能な組み合わせは、本書に記載されています。☐ 20。



- 1 肩掛けベルト
刈払機を吊り下げます。
- 2 フルハーネス
刈払機を吊り下げます。

3.3 記号

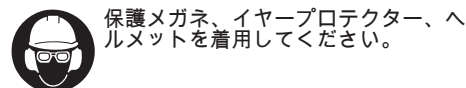
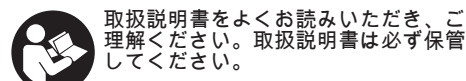
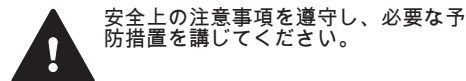
刈払機とデフレクターに表示されている記号の意味：



4 安全に関する重要事項

4.1 警告記号

刈払機の警告標示の意味



安全靴を着用してください。



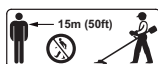
保護手袋を着用してください。



キックバックに関する安全上の注意事項を遵守し、必要な予防措置を講じてください。



飛散物に関する安全上の注意事項を遵守し、必要な予防措置を講じてください。



安全な距離を維持してください。



高温の面に触れないでください。

4.2 用途

STIHL FS 23 または FS 24 刈払機は、芝草と雑草の刈払い用です。

▲ 警告

- 設計された目的以外で刈払機を使用すると、重傷または致命傷や器物損壊につながるおそれがあります。
 - 刈払機は、本取扱説明書に従って使用してください。

4.3 作業者

▲ 警告

- 指導を受けていない使用者は、刈払機の使用に伴う危険の認識や評価ができません。使用者または他の人員が重傷または致命傷を負うおそれがあります。



製品をお使いになる際は、取扱説明書をよくお読みいただき、ご理解ください。また本書は必ず保管してください。

- 刈払機を譲渡する場合：必ず本取扱説明書を一緒に手渡してください。
- 使用者が以下の必要条件を満たしているか確認してください：
 - 十分な休息をとっている。
 - 使用者は、刈払機を操作するために適切な身体的および精神的状態である必要があります。使用者の身体的、感覚的、または精神的機能が制限されている場合、その使用者は、責任者の監督の下で、または責任者による指導とおりでのみ作業することができます。

- 使用者は刈払機の使用に伴う危険を認識し、評価することができる。
 - 法定年齢に達しているか、国の規則や規制に従い、監督下で職業訓練を受けた。
 - 使用者は、初めて刈払機を使用する前には、STIHL サービス店、またはその他の経験豊富な使用者から、指導を受けてください。
 - アルコールまたは薬物の影響を受けていない。
- ▶ ご不明な点があれば：STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
- 刈払機のイグニッションシステムは、電磁界を発生します。その電磁界がペースメーカーに干渉する場合があります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 使用者がペースメーカーを着用している場合：ペースメーカーが影響を受けないことを確認してください。

4.4 衣服と装備

▲ 警告

- 操作中、長髪は刈払機に吸い込まれることがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
- ▶ 長髪は結び、肩よりも高い位置でまとめてください。

- 作業中は、物体が高速で飛散することがあります。それにより負傷するおそれがあります。



- ▶ 確実にフィットする保護メガネを着用してください。欧州基準 EN 166 または日本の基準に従って試験され、ラベルが付けられている適切な保護メガネが販売されています。

- ▶ フェイスシールドを着用してください。
- ▶ 丈夫な素材の長ズボンを着用してください。

- 操作中は騒音が発生します。騒音は聴力障害の原因になるおそれがあります。



- ▶ イヤープロテクターを着用してください。

- 落下物で頭部を負傷するおそれがあります。



- ▶ 作業中に物が落下する危険が高いときは、ヘルメットを着用してください。

- 作業中は、粉塵が巻き上げられることがあります。巻き上げられた粉塵は気道を傷付け、アレルギー反応を引き起こすおそれがあります。
- ▶ 粉塵が発生するときは、防塵マスクを着用してください。

- 不適切な衣服は樹木、茂み、または刈払機に絡まる可能性があります。適切な衣服を着用しないと、重傷を負うおそれがあります。

- ▶ 体にぴったりフィットする衣服を着用してください。
- ▶ スカーフや装身具は外してください。
- 作業中、回転するカッティングアタッチメントに接触するおそれがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
- ▶ 頑丈な靴を着用してください。
- ▶ 金属製カッティングアタッチメントを使用している場合は、爪先に鋼板の入った安全靴を着用してください。
- ▶ 丈夫な素材の長ズボンを着用してください。
- カッティングアタッチメントの着脱時や清掃/整備中に、カッティングアタッチメントやライン制限ブレードに接触する危険があります。それにより負傷するおそれがあります。
- ▶ 耐切創手袋を着用してください。



- 不適切な履物を履くと、滑るおそれがあります。それにより負傷するおそれがあります。
- ▶ 靴底が滑らない、頑強な作りの足が露出しにくい靴を着用してください。

4.5 作業エリアと周辺環境

▲ 警告

- 見物人、子供、動物は、刈払機または飛散物の危険を認識していません。それにより見物人、子供、動物が重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。



- ▶ 見物人、子供、動物は作業エリアから 15m の範囲内に入らせないでください。
- ▶ 器物から 15m の間隔を維持してください。
- ▶ 刈払機を無人のまま放置しないでください。
- ▶ 子供が刈払機で遊ばないように注意してください。
- エンジン作動中はマフラーから高温の排気ガスが排出されます。高温の排気ガスによって可燃物が引火し、火災が生じるおそれがあります。
- ▶ 排気ガスは可燃物から十分に離してください。

4.6 安全に関する条件

4.6.1 刈払機

刈払機は、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- 刈払機が損傷していない。
- 刈払機から燃料が漏れていない。
- 燃料タンクキャップが密閉されている。
- 刈払機が清潔な状態になっている。

- 操作部が正常に作動し、改造されていない。
- 本書内で推奨されているカッティングアタッチメントとデフレクターの組み合わせが装着されている。
- カッティングアタッチメントとデフレクターが適切に装着されている。
- 本刈払機用の STIHL 純正アクセサリが装着されている。
- アクセサリが適切に取り付けられている。
- 手の届くすべてのスクリューと固定部品が確実に締め付けられている。

▲ 警告

- 安全な状態にない場合、部品が正常に作動しなくなり、安全装置が働かなくなり、燃料が漏れ出すおそれがあります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 刈払機は必ず損傷のない状態で使用してください。
 - ▶ 刈払機から燃料が漏れている場合は、刈払機を使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
 - ▶ 燃料タンクキャップを閉めます。
 - ▶ 刈払機が汚れたときは、清掃してください。
 - ▶ 刈払機は絶対に改造しないでください。例外：本書内で推奨されているカッティングアタッチメントとデフレクターの組み合わせの装着。
 - ▶ 操作部が正常に作動しない場合、刈払機を使用しないでください。
 - ▶ 必ず本刈払機用に設計された STIHL 純正アクセサリーを取り付けてください。
 - ▶ カッティングアタッチメントとデフレクターは、本取扱説明書に従って装着してください。
 - ▶ アクセサリは、本取扱説明書またはアクセサリーに付属する取扱説明書に従って装着してください。
 - ▶ 緩んだスクリューと固定部品は締め付けてください。
 - ▶ 刈払機の開口部には絶対に物を差し込まないでください。
 - ▶ 摩耗するか、損傷したらベルは交換してください。
 - ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

4.6.2 デフレクター

デフレクターは、以下が満たされている場合は安全な状態です。

- デフレクターが損傷していない。

▲ 警告

- 安全な状態にない場合、部品が正常に作動しなくなるが、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。

あります。それにより重傷を負うおそれがあります。

- ▶ デフレクターは必ず損傷のない状態で使用してください。
- ▶ 不確かなときは、STIHL サービス店にお問い合わせください。

4.6.3 金属製カッティングアタッチメント

金属製カッティングアタッチメントは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- 金属製カッティングアタッチメントと取り付け用部品が損傷していない。
- 金属製カッティングアタッチメントが曲がっていない。
- 金属製カッティングアタッチメントが適切に装着されている。
- 金属製カッティングアタッチメントが適切に目立てされている。
- 金属製カッティングアタッチメントの刃先にバリがない。
- 摩耗限界を超えていない。
- STIHL 製以外の金属製カッティングアタッチメントを使用するときは、STIHL 社が承認した最大の金属製カッティングアタッチメントと比較して重量、厚み、直径がそれを上回っている製品、形状が異なっている製品、品質が低い製品は使用しないでください。

▲ 警告

- 安全な状態にないと、金属製カッティングアタッチメントの部品が外れ、高速で飛散するおそれがあります。それにより重傷を負うことがあります。
 - ▶ 金属製カッティングアタッチメントまたは取り付け用部品が損傷した状態では、絶対に作業を行わないでください。
 - ▶ 金属製カッティングアタッチメントは適切に目立てしてください。
 - ▶ 刃先のバリはヤスリで取り除いてください。
 - ▶ 金属製カッティングアタッチメントのバランス作業は、STIHL サービス店に依頼してください。
 - ▶ 摩耗限界を超えて使用しないでください。
 - ▶ 金属製カッティングアタッチメントは、取扱説明書に記載されたとおりに使用してください。
 - ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

4.7 混合燃料と給油

▲ 警告

- 本刈払機にはガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの混合燃料が必要です。混合燃料とガソリンは、可燃性が極めて高い液体です。混

- 合燃料またはガソリンが裸火や高温の物体に触れると、火災や爆発が生じるおそれがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
- ▶ 混合燃料とガソリンは、熱源や炎から保護してください。
 - ▶ 混合燃料やガソリンは、こぼさないでください。
 - ▶ 燃料をこぼした場合は、布で拭き取り、刈払機の全部品が乾くまではエンジンを始動しないでください。
 - ▶ 喫煙しないでください。
 - ▶ 火気の近くでは給油しないでください。
 - ▶ 必ずエンジンを切り、冷ましてから、燃料を給油してください。
 - ▶ 給油場所から 3 m 以上離れた場所でエンジンを始動します。屋外に限ります。
- 燃料/ガソリンの気化ガスには毒性があります。
- ▶ 燃料/ガソリンの気化ガスは吸い込まないでください。
 - ▶ 換気の良い場所で給油してください。
- 作業中、ブローは高温になります。燃料が膨張し、タンク内の圧力が高まります。燃料タンクキャップを開けると、霧状の燃料が吹き出すおそれがあります。漏れ出た燃料は、引火するおそれがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
- ▶ 刈払機を冷ましてから燃料タンクキャップを慎重に開けてください。
- 燃料やガソリンが付着した衣服は、引火しやすくなります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
- ▶ 衣服に燃料またはガソリンが付着したときは：着替えてください。
- 混合燃料、ガソリン、および 2 ストロークエンジンオイルは、環境に有害です。
- ▶ 燃料、ガソリン、または 2 ストロークエンジンオイルは、こぼさないでください。
 - ▶ 混合燃料、ガソリン、および 2 ストロークエンジンオイルは、地域の規制と環境要件に従って処分してください。
- 皮膚に付着するか、目に入ると、混合燃料、ガソリン、または 2 ストロークエンジンオイルは炎症を引き起こすことがあります。
- ▶ 混合燃料、ガソリン、および 2 ストロークエンジンオイルには触れないでください。
 - ▶ 皮膚に付着したときは、大量の水と石鹸で付着した部分を洗浄してください。
 - ▶ 眼に入ったときは、大量の水で 15 分以上洗眼し、医師の診察を受けてください。
- 刈払機のイグニッションシステムは、火花を発生します。引火や爆発が起きやすい環境下では、エンジン外部の火花によって火災や爆発が生じるおそれがあります。重傷や致命傷を負

ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。

- ▶ スパークプラグは、本取扱説明書に従って使用してください。
 - ▶ スパークプラグを差し込み、確実に締め付けます。
 - ▶ スパークプラグターミナルを接続し、確実に押し込みます。
- 不適切なガソリンまたは不適切な 2 ストロークエンジンオイルを使用するか、ガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの混合比率が不適切な混合燃料を使用すると、刈払機が損傷するおそれがあります。
- ▶ 燃料は、本取扱説明書に従って混合してください。
- ガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの混合燃料は、長期にわたって保管すると分離するか、劣化することがあります。分離したり、劣化したりした混合燃料を使用すると、刈払機が損傷するおそれがあります。
- ▶ 刈払機に給油する前に、燃料を十分に混合してください。
 - ▶ 混合してから 30 日以内のガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの混合燃料を使用してください (STIHL MotoMix の場合は、5 年以内に使用してください)。

4.8 作業時

▲ 警告

- エンジンを適切な方法で始動しないと、使用者が刈払機の制御を失うことがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 取扱説明書に従ってエンジンを始動してください。
 - ▶ カuttingアタッチメントが地面や物体と接触している場合は、エンジンを始動しないでください。
- エンジン始動時は、エンジン回転数はアイドルリング回転数よりも上昇し、エンジン始動直後にカuttingアタッチメントが回転することがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ カuttingアタッチメントには触れないでください。
 - ▶ 取扱説明書に従ってエンジンを始動してください。
- 特定の条件下では、使用者は作業に集中できなくなることがあります。使用者が刈払機の制御を失ったり、つまずいたり、転倒したりして、重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 常に冷静に作業を計画してください。
 - ▶ 明るさと視界が不十分な場合は、刈払機を使用しないでください。
 - ▶ 刈払機は一人で操作してください。

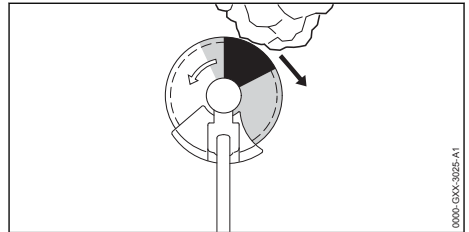
- ▶ カuttingアタッチメントは地面に近い位置で使用してください。
- ▶ 障害物に注意してください。
- ▶ 地面に立ち、バランスを保ちます。
- ▶ 疲労を感じたときは、休憩を取ってください。
- エンジン作動中は排気ガスが排出されます。排気ガスは、吸い込むと有害です。
 - ▶ 排気ガスは吸い込まないでください。
 - ▶ 刈払機は換気の良い場所で使用してください。
 - ▶ 吐き気、頭痛、視覚障害、聴覚障害、めまいが生じた場合、作業を中止し、医師の診察を受けてください。
- エンジン作動中にイヤープロテクターを着用している場合、音が聞こえにくくなります。
 - ▶ 落ち着いて、慎重に作業を進めてください。
- 回転するCuttingアタッチメントで負傷することがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 回転するCuttingアタッチメントに触れないでください。
 - ▶ Cuttingアタッチメントが障害物に挟まった場合は、エンジンを切ってから挟まり状態を解消してください。
- Cuttingアタッチメントが障害物が挟まった状態でスロットルを開くと、機械が損傷するおそれがあります。
 - ▶ エンジンを切ってから挟まり状態を解消してください。
- 操作中に刈払機の動作が変化するか、異常を感じたときは、機械がもはや安全な状態にない可能性があります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ 作業を中止し、STIHL サービス店に連絡してください。
- 作業中、刈払機は振動することがあります。
 - ▶ 手袋を着用してください。



- ▶ 休憩を取ってください。
- ▶ 血行障害の兆候が現れた場合、医師の診察を受けてください。
- 作業中にCuttingアタッチメントが異物と接触すると、異物やその破片が高速で飛散するおそれがあります。負傷したり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ 作業エリアから異物を取り除いてください。
- 回転する金属製Cuttingアタッチメントが硬い物体に接触すると、火花が発生し、Cuttingアタッチメントが損傷するおそれがあります。火花によって周囲の可燃物が引火

- することがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
- ▶ 可燃物が周囲にある環境下では刈払機を使用しないでください。
- ▶ Cuttingアタッチメントが安全な状態にあるか確認してください。
- トリガーを放しても、Cuttingアタッチメントはしばらく回転し続ける点に注意してください。それにより重傷を負うことがあります。
 - ▶ Cuttingアタッチメントの回転が完全に止まるまでお待ちください。
- 緊急時は使用者がパニックに陥り、キャリングシステムを背中から降ろさないことがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ キャリングシステムの降ろし方を練習してください。

4.9 反発力



キックバックは、以下の理由で生じることがあります：

- 回転する金属製Cuttingアタッチメントの影付きの範囲または黒の範囲が硬い物体に接触し、急ブレーキが掛かった。
- 回転する金属製Cuttingアタッチメントが切り口内に挟まった。

キックバックの危険は、黒の範囲で最大になります。

▲ 警告

- 上記の状況が生じると、Cuttingアタッチメントは突然減速するか、回転が停止し、右側またはユーザーの方向（黒の矢印方向）に飛ばされるおそれがあります。ユーザーは刈払機の制御を失うことがあります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 刈払機を両手で確実に保持してください。
 - ▶ 本取扱説明書に記載されている推奨作業方法に従ってください。
 - ▶ 黒の範囲を使用して切断しないでください。
 - ▶ 本書内で推奨されているCuttingアタッチメント、デフレクター、キャリングシステムの組み合わせを使用してください。

- ▶ 金属製カッティングアタッチメントは適切に目立てしてください。
- ▶ 常にモーターを最高速で作動させて切断してください。

4.10 運搬

▲ 警告

- 作業中はギアボックスが高温になります。火傷を負う危険性があります。
 - ▶ 高温のギアボックスに触れないでください。
- 刈払機は運搬中に倒れたり、ずれたりするおそれがあります。その結果、負傷したり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ エンジンを切ります。
 - ▶ 金属製カッティングアタッチメントが装着されている場合は、運搬用ガードを取り付けてください。
 - ▶ 転倒したり、ずれたりしないよう、刈払機を固定ストラップまたはネットで固定します。
- 使用後は、マフラーとエンジンが高温になっている場合があります。火傷を負う危険性があります。
 - ▶ 刈払機はドライブチューブでバランスを取り、カッティングアタッチメントを後ろに向けて運搬してください。

4.11 保管

▲ 警告

- 子供は刈払機の危険の認識や評価ができず、重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ エンジンを切ります。
 - ▶ 金属製カッティングアタッチメントが装着されている場合：運搬用ガードを取り付けてください。
 - ▶ 刈払機は子供の手の届かないところに保管してください。
- 湿気によって刈払機の電気接点や金属製部品が腐食することがあります。それにより刈払機が損傷することがあります。
 - ▶ 刈払機は、清潔な乾いた状態で保管してください。

4.12 清掃、整備、修理

▲ 警告

- 清掃、整備、修理時にエンジンを作動させておくと、カッティングアタッチメントが偶発的に回転し始めるおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ エンジンを切ります。

- 使用後は、マフラーとエンジンが高温になっている場合があります。それにより火傷を負うおそれがあります。
 - ▶ マフラーとエンジンが冷えるまで待ちます。
- ギアハウジングは作業中に高温になることがあります。火傷を負う危険性があります。
 - ▶ 高温のギアハウジングには触れないでください。
















- 刺激の強い洗浄剤、高圧洗浄機、尖った物体は、刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメントを損傷させるおそれがあります。刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメントを適切に清掃しないと、コンポーネントが正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。それにより重傷を負うことがあります。
 - ▶ 刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメントは、本取扱説明書に従って清掃してください。
- シャフトの内ねじが汚れていると、カッティングアタッチメント固定スクリューを完全にねじ込めなくなります。カッティングアタッチメントを確実に固定できなくなります。その結果、重傷や致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 作業完了後は、シャフトの内ねじが汚れていないか点検し、清掃してください。
- 刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメントに適切な整備や修理を行わないと、コンポーネントが正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 刈払機やデフレクターの整備や修理を試みないでください。
 - ▶ 刈払機やデフレクターに整備や修理が必要になったときは、STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
 - ▶ カッティングアタッチメントは、同梱されている取扱説明書またはパッケージに記載されている指示に従って整備してください。
- カッティングアタッチメントの清掃または整備中に、鋭利な刃先でケガをする場合があります。それにより負傷するおそれがあります。
 - ▶ 耐切創手袋を着用してください。



5 刈払機の使用準備

5.1 刈払機の使用準備

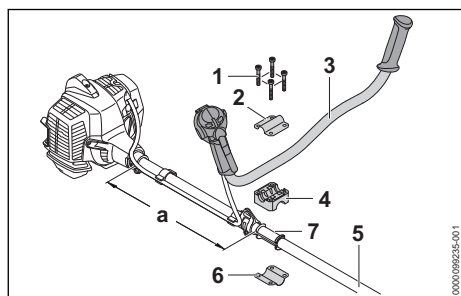
次の手順に従ってから作業を開始してください。

- ▶ 以下の部品が安全な状態になっているか確認します。
 - 刈払機、 4.6.1。
 - デフレクター、 4.6.2。
 - 金属製カッティングアタッチメント、 4.6.3。
- ▶ 刈払機を清掃します、 15.1。
- ▶ バイクハンドルを取り付けます。 6.1
- ▶ カッティングアタッチメント、デフレクター、キャリングシステムの組み合わせを選択します、 20。
- ▶ デフレクターを取り付けます、 6.2。
- ▶ 金属製カッティングアタッチメントを取り付けます、 6.3.1。
- ▶ 刈払機に燃料を補給します、 8.2。
- ▶ キャリングシステムを取り付け、調整します、 7.1。
- ▶ バイクハンドルを調整します。 7.2
- ▶ 刈払機のバランスを取ります、 7.3。
- ▶ 操作部を点検します、 10.1。
- ▶ 上記の作業を実施できない場合は、刈払機を使用しないでください。STIHL サービス店にお問い合わせください。

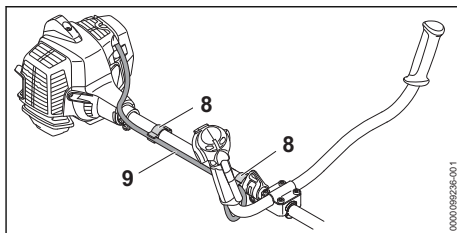
6 刈払機の組み立て

6.1 バイクハンドルの取り付け

- ▶ エンジンを切ります。



- ▶ スクリュー (1) を取り外します。
- ▶ クランピングピース (4) を下部クランピングシエル (6) と共にシャフト (5) のスリーブ (7) に位置決めします。その際は、a = 40 cm になるよう位置を合わせます。
- ▶ ハンドルバー (3) をクランピングピース (4) に位置決めします。
- ▶ 上部クランピングシエル (2) を取り付け、穴どうしを合わせます。
- ▶ スクリュー (1) を差し込みます。
- ▶ ハンドルバー (3) を揺すり、カッティングアタッチメントに位置を合わせます。
- ▶ スクリュー (1) を確実に締め付けます。

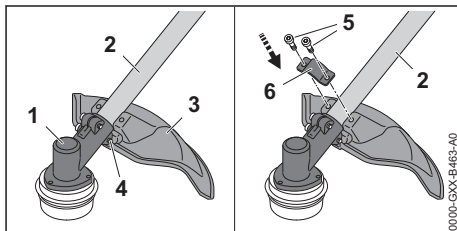


- ▶ スロットルケーブル (9) をスロットルケーブルサポート (8) に押し込みます
スロットルケーブル (9) は折り曲げたり、取り付け半径を小さくしすぎたりしないよう注意してください。スロットルトリガーがスムーズに動くことを確認してください。

バイクハンドルはシャフト上に残しておくことができます。

6.2 デフレクターの取り付け

- ▶ エンジンを切ります。



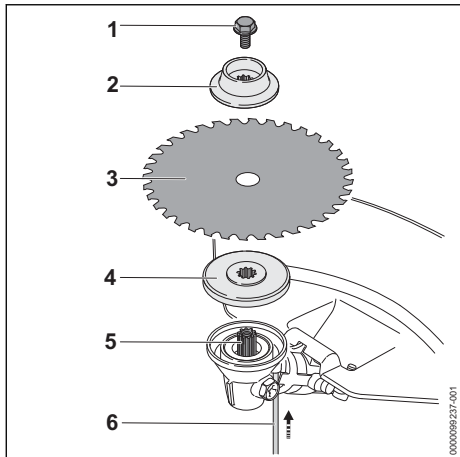
- ▶ デフレクター (3) をシャフト (2) に位置決めします。くぼみ (4) をギアボックス (1) にかみ合わせてください。
- ▶ クランプ (6) をシャフト (2) に載せ、穴の位置を合わせます。
- ▶ スクリュー (5) を挿入し、締め付けます。

デフレクター (3) は取り外さないでください。

6.3 金属製カッティングアタッチメントの取り付けと取り外し

6.3.1 金属製カッティングアタッチメントの取り付け

- ▶ エンジンを切ります。



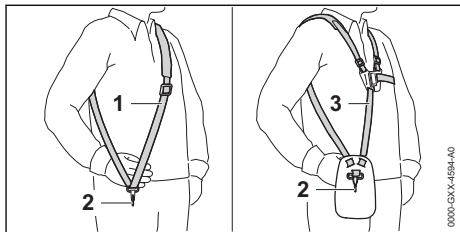
- ▶ 小径側を表に向けてスラストプレート (4) をシャフト (5) に通します。
- ▶ 金属製カッティングアタッチメント (3) をスラストプレート (4) に載せます。刃先をデフレクターの矢印と同じ方向に向けてください。
- ▶ ライダープレート (2) を金属製カッティングアタッチメントに載せます。
- ▶ スクリュー (1) を反時計回りにまわします。
- ▶ ストップピン (6) を穴のリミットストップの位置まで差し込み、押したまま保持します。
- ▶ 金属製カッティングアタッチメント (3) を反時計回りにまわし、ストップピン (6) を所定の位置にはめ込みます。シャフト (5) が固定されます。
- ▶ スクリュー (1) を反時計回りに確実に締め付けます。
- ▶ ストップピン (6) を取り外します。

6.3.2 金属製カッティングアタッチメントの取り外し

- ▶ エンジンを切ります。
- ▶ ストップピンを穴のリミットストップの位置まで差し込み、押したまま保持します。
- ▶ 金属製カッティングアタッチメントを時計回りにまわし、ストップピンを所定の位置にはめ込みます。シャフトが固定されます。
- ▶ 時計回りにまわし、スクリュー□を取り外します。
- ▶ 固定部品、金属製カッティングアタッチメント、スラストワッシャーを取り外します。
- ▶ ストップピンを取り外します。

7 刈払機の調整

7.1 キャリングシステムの装着と調整

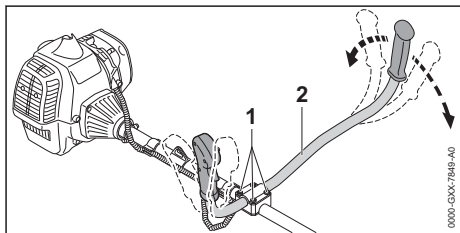


- ▶ 肩掛けベルト (1) またはフルハーネス (3) を着用します。
- ▶ カラбина (2) が右腰から手幅下だった位置に来るように肩掛けベルト (1) またはフルハーネス (3) の長さを調整します。

7.2 バイクハンドルの調整

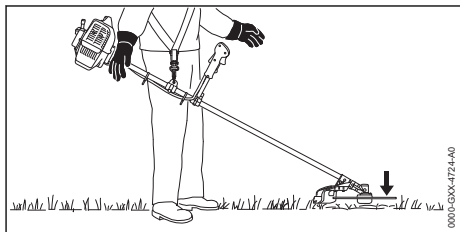
バイクハンドルは、使用者の身長や手の長さに合わせてさまざまな位置に設定できます。

- ▶ エンジンを切ります。
- ▶ 刈払機をキャリングリングからキャリングシステムのカラбинаに引っ掛けます。



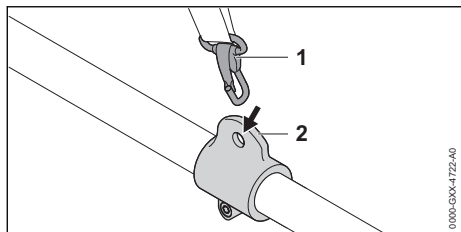
- ▶ スクリュー (1) を取り外します。
- ▶ バイクハンドル (2) を回転させ、作業しやすい位置に合わせます。
- ▶ スクリュー (1) をしっかりと締め付けます。

7.3 刈払機のバランスの取り方

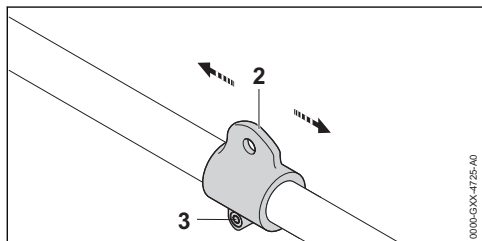


カッティングアタッチメントを地面に軽く当てます。

- ▶ エンジンを切ります。



- ▶ 吊り下げ用リング (2) をカラビナ (1) に接続します。
- ▶ 刈払機の揺れが止まるまで待ちます。
- ▶ カuttingアタッチメントの位置を調整します。調整が必要な場合は、以下を行います。



- ▶ スクリュー (3) を緩めます。
- ▶ 吊り下げ用リング (2) をドライブチューブ上で上下に動かし、バランスが取れる位置に合わせます。
- ▶ スクリュー (3) をしっかりと締め付けます。

8 燃料の混合と刈払機への給油

8.1 燃料の混合

本刈払機には、ガソリンと 2 ストロークエンジンオイルを 50 : 1 の比率で混合した混合燃料が必要です。

STIHL 社では STIHL MotoMix(モトミックス) の使用をお勧めしています。

ご自身で燃料を混合する場合は、STIHL 2 ストロークエンジンオイルまたは JASO FB、JASO FC、JASO FD、ISO-L-EGB、ISO-L-EGC あるいは ISO-L-EGD に準拠する他の高性能エンジンオイルを使用してください。

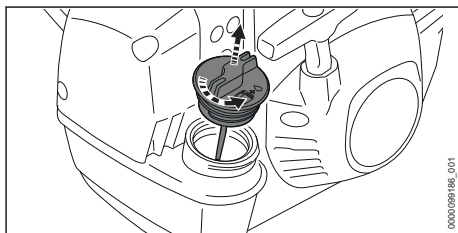
機械が寿命に達するまでの全期間で排ガス基準が満たされるよう、STIHL 社では STIHL HP Ultra(ウルトラ) 2 ストロークエンジンオイルまたは同等の高性能エンジンオイルの使用を指定しています。

- ▶ ガソリンのオクタン価が 90 RON 以上で、エタノール濃度が 10% 以下 (ブラジルでは 27% 以下) のガソリンを使用してください。

- ▶ 使用する 2 ストロークエンジンオイルが要件を満たしているか確認してください。
- ▶ 燃料の必要量に応じて、50 : 1 の混合比でガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの適正量を割り出します。混合燃料の例：
 - 20 ml の 2 ストロークエンジンオイルと 1 L のガソリン
 - 60 ml の 2 ストロークエンジンオイルと 3 L のガソリン
 - 100 ml の 2 ストロークエンジンオイルと 5 L のガソリン
- ▶ 承認された清潔な燃料容器にまず 2 ストロークエンジンオイルを入れ、次にガソリンを加えます。
- ▶ 燃料を混合してから給油します。

8.2 刈払機の給油

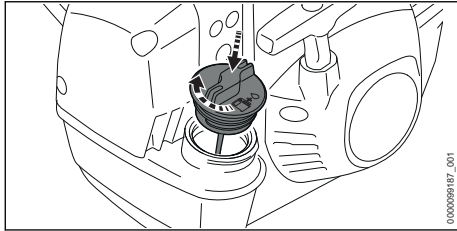
- ▶ エンジンを切ります。
- ▶ 燃料タンクキャップが上を向くように刈払機を平らな面に置きます。
- ▶ 湿らせた布で燃料タンクキャップとその周囲を掃除します。



- ▶ 取り外しが可能な状態になるまでタンクキャップを反時計回りにまわします。
- ▶ 燃料タンクキャップを取り外します。

注記

- 照明や直射日光を当てたり、極端な温度にさらしたりすると、燃料の分離や劣化が加速することがあります。分離したり、劣化したりした混合燃料を使用すると、刈払機が損傷するおそれがあります。
 - ▶ 燃料は十分に混合してください。
 - ▶ 30 日以上 (STIHL MotoMix の場合は 5 年以上) 保管した混合燃料は使用しないでください。
- ▶ 給油時は燃料をこぼさないよう注意し、燃料の液面とタンク上端の間に 15 mm 以上の隙間があるか確認します。

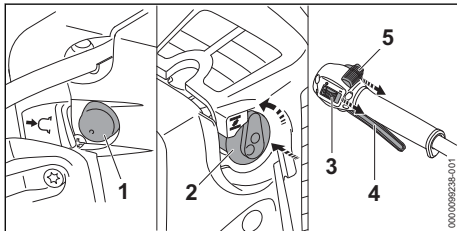


- ▶ タンク開口部に燃料タンクキャップを載せま
- す。
- ▶ タンクキャップを時計回りにまわし、手で確実
- に締め付けます。
- 燃料タンクが密閉されます。

9 エンジンの始動と停止

9.1 エンジンの始動

- ▶ 刈払機を平坦な面に置きます。カッティング
- アタッチメントを地面や他の物体に接触させ
- ないでください。
- ▶ 運搬用ガードを取り外します。



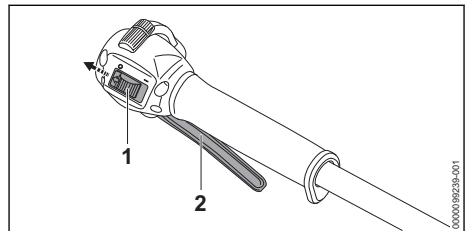
- ▶ 手動燃料ポンプ (1) を 5 回以上押します。
- ▶ エンジンが暖まっているときは、チョークレバ
- ー (2) を **I** の位置に合わせておきます。
- ▶ エンジンが周囲温度のときは、チョークレバ
- ー (2) を **0** の位置に合わせ、押し込みます。
- ▶ レバー (5) を使用者の方向に完全に押し、リミ
- ットストップに到達させます。
- ▶ スライドコントロール (3) を **0** の位置に合わせ
- ます。



注記

- 足や膝で地面に押し付けると、刈払機が損傷す
- ることがあります。
- ▶ 刈払機は左手で地面に固定してください。
- シャフトの上に立ったり、膝で押し付けたり
- しないでください。
- ▶ 刈払機は左手で地面に固定してください。
- ▶ かみ合った感じがするまで、右手でスタータ
- ーグリップをゆっくりと引きます。
- ▶ エンジンが始動するまで、スターターグリップ
- を素早く引き、スターターローブを巻き込む動
- 作を数回繰り返します。
- ▶ チョークレバー (2) が **0** の位置の場合は、スロ
- ットルトリガー (4) を押します。
- ▶ チョークレバー (2) が **I** の位置に戻ります。エ
- ンジンがアイドリング回転数で作動します。
- ▶ エンジンのアイドリング時にカッティングア
- タッチメントが回転する場合は、不具合を修正
- してください。
- ▶ アイドリング回転数の調整が不適切です。
- ▶ エンジンが停止し、チョークレバーが **0** の位置
- に合った場合は、スロットルトリガー (4) を握
- り、チョークレバー (2) を **I** の位置に合わせて
- エンジンの再始動を試みてください。
- ▶ スロットルを開くとエンジンが停止し、始動中
- にチョークレバー (2) が **0** の位置に合っていた
- 場合は、チョークレバー (2) を **0** の位置に戻し、
- エンジンの再始動を試みてください。
- ▶ エンジンが燃料を吸い込みすぎているときは、
- チョークレバー (2) を **I** の位置に合わせてエ
- ンジンの再始動を試みてください。

9.2 エンジンの停止



- ▶ スロットルトリガー (2) を放します。
- カッティングアタッチメントが停止します。
- ▶ スライドコントロール (1) を **0** の位置に合わ
- せま
- す。
- エンジンが停止します。

- ▶ エンジンが停止しない場合：
 - ▶ チョークレバーを **I** の位置に動かします。エンジンが停止します。
 - ▶ 刈払機を使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。スライドコントロールが故障しています。

10 刈払機のテスト

10.1 操作部の点検

スロットルトリガー

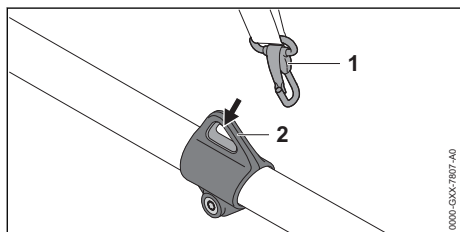
- ▶ エンジンを切ります。
- ▶ スロットルトリガーを握ります。
- ▶ スロットルトリガーを放します。
- ▶ スロットルトリガーが円滑に動かないか、アイドル位置に戻らないときは、刈払機を使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。スロットルトリガーが故障しています。

エンジンの停止

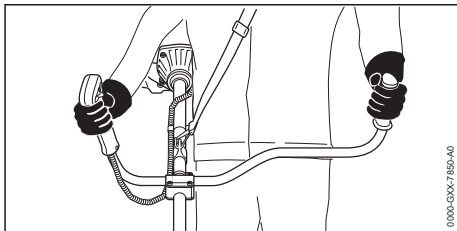
- ▶ エンジンを始動します。
- ▶ スライドコントロールを **0** の位置に合わせます。エンジンが停止します。
- ▶ エンジンが停止しない場合：
 - ▶ チョークレバーを **I** の位置に動かします。エンジンが停止します。
 - ▶ 刈払機を使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。スライドコントロールが故障しています。

11 刈払機の操作

11.1 刈払機の保持と操作



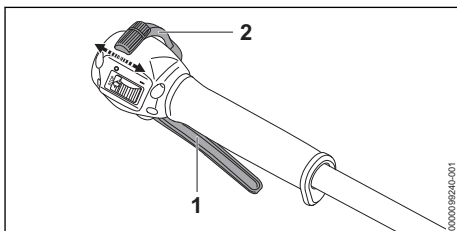
- ▶ 吊り下げ用リング (2) をカラビナ (1) に接続します。



- ▶ 右手でコントロールハンドルを握り、刈払機を保持します。コントロールハンドルに親指をかけてください。
- ▶ 左手で左ハンドルを握り、刈払機を保持します。左ハンドルに親指をかけてください。

11.2 回転数の調整

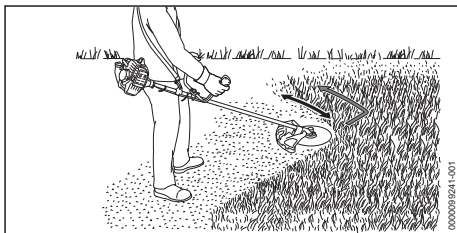
- エンジン回転数はレバーを使用して設定できません。
- ▶ エンジンを始動します。



- ▶ スロットルトリガー (1) を握り、そのまま保持します。エンジンが加速し、カッティングアタッチメントが回転します。
- ▶ レバー (2) を動かし、目標回転数に設定します。

11.3 刈払い

刈払い高さは、地面からカッティングアタッチメントまでの距離によって決まります。



草刈ブレードを使用した刈払い

- ▶ 金属製カッティングアタッチメントの左側で刈払います。
- ▶ 制御しながらゆっくりと前進します。

12 作業後

12.1 作業終了時

- ▶ エンジンを切ります。
- ▶ 刈払機が冷めるまで待ちます。
- ▶ 刈払機が濡れている場合は、刈払機を乾かします。
- ▶ 刈払機を清掃します。
- ▶ デフレクターを掃除します。
- ▶ カuttingアタッチメントを掃除します。
- ▶ 金属製カuttingアタッチメントが装着されている場合、適合する運搬用ガードを取り付けてください。

13 運搬

13.1 刈払機の運搬

- ▶ エンジンを切ります。
- ▶ 金属製カuttingアタッチメントが装着されている場合、適合する運搬用ガードを取り付けてください。

刈払機の運搬

- ▶ 刈払機はドライブチューブでバランスを取り、カuttingアタッチメントを後ろに向けて運搬してください。

刈払機の車両輸送

- ▶ 倒れたり、ずれたりしないよう刈払機を固定してください。

14 保管

14.1 刈払機の保管

- ▶ エンジンを切ります。
- ▶ 金属製カuttingアタッチメントが装着されている場合は、運搬用ガードを取り付けてください。
- ▶ 刈払機の保管時は、以下の点を遵守してください：
 - 刈払機は子供の手の届かないところに保管する。
 - 刈払機を清潔で乾燥した状態にする。
- ▶ 刈払機を 30 ヶ月以上保管する場合
 - ▶ カuttingアタッチメントを取り外します。
 - ▶ 燃料タンクキャップを開けます。
 - ▶ 燃料タンクを空にします。
 - ▶ 燃料タンクキャップを閉めます。
 - ▶ 手動燃料ポンプが装着されている場合は、手動燃料ポンプを 5 回以上押します。
 - ▶ エンジンを始動し、停止するまでアイドリングさせます。

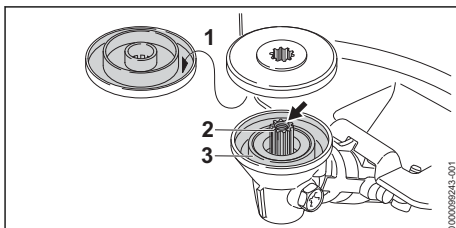
15 清掃

15.1 刈払機の清掃

- ▶ エンジンを切ります。
- ▶ 刈払機が冷めるまで待ちます。
- ▶ 刈払機を濡らせた布または STIHL 樹脂溶剤で掃除します。
- ▶ 冷却風吸入部を柔らかいブラシで掃除します。

15.2 デフレクターとカuttingアタッチメントの清掃

- ▶ エンジンを切ります。
- ▶ デフレクターとカuttingアタッチメントを濡らせた布または柔らかいブラシで掃除します。



- ▶ スラストプレート (1) をシャフト (2) から取り外します。
- ▶ スラストプレート (1)、シャフト (2)、ギアハウジング (3) を清掃します。
- ▶ シャフト (2) の内ねじを底部まで清掃します。

16 整備

16.1 整備間隔

整備間隔は、周囲条件と作業条件によって変化します。STIHL 社では次の間隔による整備をお勧めしています：

100 運転時間毎

- ▶ スパークプラグを交換します。

毎月

- ▶ STIHL サービス店に燃料タンクの清掃を依頼してください。
- ▶ STIHL サービス店に燃料タンクのピックアップボディの清掃を依頼してください。

毎年

- ▶ STIHL サービス店に燃料タンクのピックアップボディの交換を依頼してください。

16.2 金属製カッティングアタッチメントの目立てとバランスの取り方

金属製カッティングアタッチメントを適切に目立てし、バランスを取るには、練習を重ねる必要があります。

STIHL 社では、金属製カッティングアタッチメントの目立てとバランス取りを STIHL サービス店に依頼されることをお勧めしています。

▶ 金属製カッティングアタッチメントは、同梱されている取扱説明書とパッケージに記載されている指示に従って目立てしてください。

18 トラブルシューティング

18.1 刈払機のトラブルシューティング

大半の不具合は、原因が同一の場合があります。

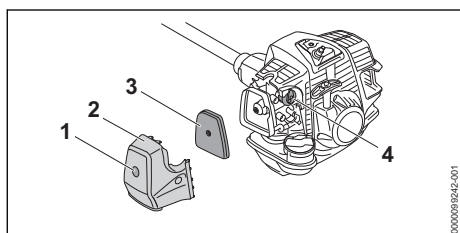
- ▶ 以下の措置を行ってください：
 - ▶ エアフィルターを交換します。
 - ▶ スパークプラグを掃除するか、交換します。
 - ▶ アイドリング回転数を調整します。
- ▶ 不具合が解消されない場合は、下記の対応策を講じてください。

不具合	原因	処置
エンジンが始動しない	燃料タンクに十分な燃料が入っていない。	▶ 混合燃料を準備し、刈払機に給油します。
	エンジンが燃料を吸い込みすぎている。	▶ チョークレバーを I の位置に合わせてエンジンを始動します。
	キャブレターが過熱している。	▶ 刈払機が冷めるまで待ちます。 ▶ 手動燃料ポンプを 10 回以上押してからエンジンを始動します。
	キャブレターが凍結している。	▶ 刈払機を +10°C まで暖めます。
エンジンのアイドリングが不安定。	キャブレターが凍結している。	▶ 刈払機を +10°C まで暖めます。
アイドリング中にエンジンがストールする。	キャブレターが凍結している。	▶ 刈払機を +10°C まで暖めます。

18.2 エアフィルターの交換

エアフィルターは清掃できません。損傷したり、エンジン出力が低下したりした場合は、エアフィルターを交換してください。

▶ エンジンを切ります。



▶ チョークレバー (4) を **I** の位置に合わせます。

17 修理

17.1 刈払機とカッティングアタッチメントの修理

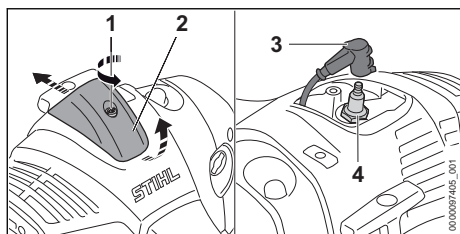
ユーザーが刈払機とカッティングアタッチメントを修理することはできません。

▶ 刈払機またはカッティングアタッチメントが損傷した場合：刈払機またはカッティングアタッチメントを使用しないでください。STIHL サービス店に連絡してください。

- ▶ スクリュー (1) を抜き取り、フィルターカバー (2) を取り外します。
- ▶ エアフィルター (3) 周辺部を湿らせた布または柔らかいブラシで掃除します。
- ▶ エアフィルター (3) を取り外します。
- ▶ 新品のエアフィルター (3) を取り付けます。
- ▶ チョークレバー (4) を **I** の位置に合わせます。
- ▶ フィルターカバー (2) を取り付けます。
- ▶ スクリュー (1) を挿入し、締め付けます。

18.3 スパークプラグの清掃

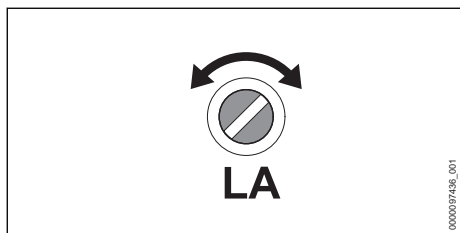
- ▶ エンジンを切ります。
- ▶ 刈払機が冷めるまで待ちます。



- ▶ スクリュー (1) を反時計回りにまわします。
- ▶ カバー (2) を持ち上げ、後方へ押しします。
- ▶ スパークプラグターミナル (3) を引き抜きます。
- ▶ スパークプラグ (4) 周辺が汚れている場合は、布でスパークプラグ (4) 周辺を清掃してください。
- ▶ スパークプラグ (4) を取り外します。
- ▶ スパークプラグ (4) を布で掃除します。
- ▶ スパークプラグ (4) が腐食している場合は、新しいスパークプラグ (4) を取り付けてください。
- ▶ スパークプラグ (4) を差し込み、締め付けます。
- ▶ スパークプラグターミナル (3) を奥まで押し込みます。
- ▶ カバー (2) を取り付け、スクリュー (1) を締め付けます。

18.4 アイドリング回転数の調整

- ▶ エンジンを始動します。
- ▶ スロットルを約 1 分間、繰り返し開閉させ、エンジンを暖機します。



アイドリング中にエンジングストールする

- ▶ エンジンの回転が滑らかになるまでアイドリング回転数調整スクリュー (LA) を時計回りにまわします。

アイドリング中にカuttingアタッチメントが回転する

- ▶ カuttingアタッチメントが停止するまでアイドリング回転数調整スクリュー (LA) を反時計回りにまわします。

19 技術仕様

19.1 STIHL FS 23、FS 24 刈払機

- 排気量：21.4 cm³
- ISO 8893 に準拠したエンジン出力：0.75 kW (1.0 hp) @ 8,000 rpm
- アイドリング回転数：2,800 rpm
- 最大出力シャフト回転数：6,980 rpm
- 承認されているスパークプラグ：NGK CMR6H (STIHL 供給)
- スパークプラグの電極ギャップ：0.5 mm
- 重量 (カuttingアタッチメントとデフレクターを除く)：
 - FS 23：4.2 kg
 - FS 24：4.4 kg
- 全長 (カuttingアタッチメントを除く)：1,780 mm
- 燃料タンク容量：540 cc (0.54 l)

19.2 音圧・音響・振動レベル

騒音の音圧レベルの K 値は、2 dB(A) です。騒音の音響出力レベルの K 値は、2 dB(A) です。振動レベルの K 値は、2 m/s² です。

金属製カuttingアタッチメント使用時

- ISO 22868 に準拠して測定した音圧レベル L_{pA}：92 dB(A)
- ISO 22868 に準拠して測定した音響出力レベル L_{WA}：107 dB(A)
- ISO 22867 に準拠して測定した振動レベル a_{hv}
 - コントロールハンドル：3.2 m/s²
 - 左ハンドル：3.5 m/s²

振動に関する事業者への指令 2002/44/EC の遵守に関しては、www.stihl.com/vib をご覧ください。

20 カuttingアタッチメント、デフレクター、キャリングシステムの組み合わせ

20.1 カuttingアタッチメント、デフレクター、キャリングシステムの組み合わせ

FS 23

カuttingアタッチメント	デフレクター	キャリングシステム
- 草刈ブレード 230-36 (230 mm 径)	- 金属製カuttingアタッチメント用デフレクター	- 肩掛けベルト - クイックリリースシステム付きフルハーネス

FS 24

カuttingアタッチメント	デフレクター	キャリングシステム
- 草刈ブレード 230-36 (230 mm 径) - 草刈ブレード 255-36 (255 mm 径)	- 金属製カuttingアタッチメント用デフレクター	- 肩掛けベルト - クイックリリースシステム付きフルハーネス

21 スペアパーツおよびアクセサリ

21.1 スペアパーツおよびアクセサリ

STIHL これらの記号は、STIHL 純正のスペアパーツと STIHL 純正のアクセサリに付けられています。

STIHL 社では、STIHL 純正の交換部品とアクセサリの使用をお勧めしています。

STIHL 社は市場に出回っている商品を継続的に調査しておりますが、他社製スペアパーツとアクセサリの信頼性、安全性、適性を判断することはできません。そのため、STIHL 社はそうした部品の使用を許可しておりません。

STIHL 純正の交換部品と STIHL 純正のアクセサリは、STIHL サービス店から入手することができます。

22 廃棄

22.1 刈払機の廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。

- ▶ 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- ▶ 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

www.stihl.com



0458-830-4321-A



0458-830-4321-A